

「まちづくり懇談会」意見一覧(土器コミュニティセンター)

番号	意見趣旨	回答趣旨
1	民間企業と公務員との格差が開いてきている。公務員の方には、十分に認識して市民サービスに努めていただきたい。	(要望)
2	昨年の台風で県道長尾丸亀線が浸水したが、原因は土器川の自転車歩行者道の横の土砂とそこに生えた木である。平成橋より南は高いため、北の高津に水が逆流して古子川が溢れ県道が浸水する。市から国・県へ申し入れをして水の流れを確保してもらいたい。	市長から国に対して土砂の取り除きを要望している。国でも、川砂利採取に向けて法律の見直しを検討しているところであり、また、土器川についても上空から写真とり現状を把握し、土砂を取り除くことを目標に検討が進められている。
3	下水道は、雨水対策が遅れている。総合計画の中で雨水対策を入れるべきである。	(要望)
4	臨海公園の計画が白紙撤回となっているようだが、その後はどのようにしているのか？	地元から臨海公園の整備ではダメということで白紙撤回している。地元で新たな組織化をしているようであるが、組織が出来れば、そこで協議をしていきたい。
5	臨海公園の予算を基金として積み立ててはどうか？	臨海公園の予算は概ね100%借り入れる予定であり、残している一般予算はない。
6	平成17年度に臨海公園整備費として予定していた3億円の予算はどうなるのか？	事業と同時に同額程度を借り入れる予定にしていた。
7	土器町に焼却炉を作るということから、余熱利用施設の建設など土器町民のためになるものを作るといって予算をつけていたはず。土器町民のための予算ではなかったのか？	公園整備が決まれば起債(借金)を受ける予定であり、市が持っているお金はない。
8	災害時の避難場所の移転を要望していたが、その結果はどうなっているのか？	現在、避難場所も含めた新市の防災計画を策定している。今年度中の早い段階で素案をお見せする。ただ、地区の避難場所は市で考えるが、地域の非難経路や非難場所は、地域での話し合いの中で、自主防災組織の立ち上げをあわせて相談いただきたい。
9	避難場所が自治会館となっているが、そこに非難した場合、市に連絡する必要があるのか？	市と地元との情報のやりとりは、防災計画に盛り込みたいと考えている。
10	ごみの有料化により、全体としてどのくらいの支出が削減できるのか？	本年度は10月からスタートのため約5千万円の収入を見込んでいる。1年間へ-スでは約1億円を超える収入があると想定している。ゴミの減量は10%程度と見込んでいる。
11	中心市街地がさびれていて寂しい。中心市街地活性化策は考えているのか？	娑婆羅まつりでは、無料駐車場を市役所の南側に準備し、商店街を通過して娑婆羅の会場まで行くように考えている。市としては、イベントの開催に当たり配慮しているので、商店街の方にもがんばっていただきたい。
12	中心市街地の活性化は、イベントで活性化するとは思えない。根本的な原因として、住む人を寄せることは考えないのか？	まずは地元商店街にがんばってもらわなければならないと考えている。
13	なぜ市の予算は厳しくなったのか？	市の財政は、ボートの収入に支えられ、これまで学校施設や都市施設が整備できてきた。しかし、施設を持つと、それを維持するための人件費等が必要となる中、ボート収入が減り財源不足を招いた。また、合併により人件費の削減等が図られたが、市税と交付税の削減により急激に厳しくなっている状況である。
14	職員を減らすことで財政を健全化するのではダメだと思うが、どのように財政の健全化を図っていくのか？	他の同規模自治体(人口11万人都市)と同様の財政構造に持っていく。
15	職員を辞めさせるのか？	地方公務員法により職員を辞めさせることはできない。
16	丸亀城の濠の水が青く濁っている。高津池の水が穂水を入れると必要なくなるので、高津池の水を使って濠の水を清浄してはどうか？	濠の水は、農繁期が一番水質的に厳しく、それを過ぎると落ち着く。現在も噴水や木炭浄化等により水質維持に努めているが、引き続き池の水などを利用できる方法を検討していきたい。

17	焼却場の予算は、1億でも2億でも土器町のために残しておくことはできないか？	施設整備費は世代間の負担公平の観点から、借金で財源を確保しているものであり、市に余ったお金はなく、残す残さないということではない。
18	例えば丸亀からオリンピック選手を育てたり、全国優勝する高校を育てようというような大きな目標を総合計画に入れていただきたい。	(要望)
19	余熱利用施設等の付帯施設は、これまでころころと話しが変わってきた。土器町の住民としては、今の段階で市はどのような約束ができるのか、5年先10年先を考えて地元を考えさせてもらえるのかを言っていただきたい。	公園の案についても、何度も説明させていただいたが、地元が反対ということで、それなら財政も厳しいことから白紙へ戻そうということになった。今後は、財政力も考慮しながら検討していく。
20	少子化対策として、子どもの育成に係る財政的援助はあるのか？	今、政党からいろいろな児童手当の話が出ているが、現時点では秋の臨時国会でどうなるか推移を見守るしかない。現状では、小学校3学年終了前の児童に対して、月額第1子及び第2子が5,000円、第3子以降が10,000円の児童養育費がある。
21	ごみが有料化になると枝切りした枝のごみについても指定ごみ袋に入れなければならないのか？	枝を50cm幅に切っていただき、大の袋に入れて出してください。蛍光灯等は切れないので、先が袋から出ていてもよいので、指定ごみ袋に入れて出してください。
22	衛生費の市民一人あたり38,195円は、有料化することによりどうなるのか？	市民一人あたり38,195円は、ごみの収集やし尿の処理などに係る一人当たりの経費である。ごみ袋の売上は、収入ということになる。